

「履歴書」及び「教育研究業績書」の作成要領

富山大学人間発達科学部

◎「履歴書」(様式1)

それぞれの欄に、以下のとおり記載してください。なお、各事項について特記事項がない場合は、空欄にせず「特記事項なし」と記載すること。また、年月は和暦で記載すること。

①「学歴」

- ・大学、高等専門学校（又はこれと同等以上の学校）卒業以上の学歴を、学位・称号を含めて記載すること。（該当するものがない場合は最終学歴を記載すること）

②「職歴」

- ・全ての職歴（自営業、主婦、無職等を含む。）を記載すること。
- ・各職歴は在職期間が分かるように記載し、現職には「現在に至る」と記載すること。
- ・研究者としての外国の大学等への留学歴も記載すること。
- ・過去における課程認定委員会における教員審査で単独担当で可とされた者は、当該審査に係る審査年・大学・職名及び担当授業科目名を記載すること。

③「学会及び社会における活動等」

- ・「現在所属している学会」欄には、提出時において所属する学会の名称を記載すること。
- ・学会及び社会における活動のうち、本人の専攻、研究分野等に関連した事項について記載すること。

④「資格等」

- ・本人の専攻、研究分野等に関連した資格等について記載すること。

⑤「賞罰」

- ・学会等からの表彰や職務上の表彰や懲戒処分、研究費の不正受給に係る処分等を記載すること。

◎「教育研究業績書」(様式2)

この書類は、教育上の能力に関する事項、職務上の実績に関する事項及び研究業績等に関する事項等（発行又は発表が予定されているものを含む。）について作成してください。

A「研究分野」及び「研究内容のキーワード」

- ・「研究分野」の欄には、科学研究費補助金の「系・分野・分科・細目表」の分科レベルの名称を用いて、研究分野の主なものを3つ以内で記載すること。
- ・「研究内容のキーワード」の欄には、同表の細目を参考に、研究内容を表すキーワードを5つ以内で記載すること。
- ・分科レベルに該当がない場合は、適宜記載すること。

B 「教育上の能力に関する事項」及び「職務上の実績に関する事項」

・「事項」の項には、各区分に該当する教育上の能力及び職務上の実績に関する事項を、以下の例を参考に、過去から現在まで簡潔に記載すること。

1 教育方法の実践例

・大学・短期大学・大学院など高等教育機関において授業科目を担当している教員が、学生の理解を図るため、工夫を凝らした分かりやすい授業を実施している場合、その内容を記載すること。

(具体例) ICT 等を活用した授業方法

学生の授業外における学習効果促進のための取り組み

授業内容の web 上での公開 等

2 作成した教科書・教材

・学生の理解を図るために作成し、また、授業や教職指導などにおいて活用している教科書や教材を記載すること。(後の「研究業績等に関する事項」との重複も可。その場合「(再掲)」と表記すること。)

3 教育上の能力に対する大学等の評価

・学生の理解を図るために行っている教育上の取り組み(授業や教職指導などを通じた取り組み)に対して、大学等から特に高い評価を受けた場合のみ記載すること。

(具体例) 各大学における自己点検・自己評価での評価結果

学生による授業評価結果、教員相互による評価結果

4 実務の経験を有する者についての特記事項

学校現場における教育に関する取り組みを記載すること。

(具体例) ・幼稚園、小学校、中学校、高等学校又は特別支援学校との教育実績、フィールドワーク

・学校評議員等の委員の経験

5 その他

学生の理解を図るために行っている取り組みのうち、上記に該当しないものを記載。

(具体例) 大学教育改善に関する団体等での活動の概要

教育実績に対する表彰

C 「職務上の実績に関する事項」

1 資格、免許

履歴書と重複してもよいので記載すること。

2 特許等

特許、実用新案等を取得あるいは公開しているものは、これを記載すること。

3 実務の経験を有する者についての特記事項

○現職教員の場合

- ・学校における優れた教科指導、生徒指導等の方法
- ・生徒、校長、保護者等による評価

○教育委員会等関係者の場合

- ・現職教員を対象とした研修・講座の講演歴等の概要
- ・教育委員会での職歴、職務内容

D 「研究業績等に関する事項」

・「著書、学術論文等の名称」の項には、以下の点に留意の上、「(著書)」、「(学術論文)」、「(総説・解説)」、「(学会発表)」、「(その他)」のそれぞれについて区分ごとに、発表年月の古いものから順に通し番号を付して記載すること。

ア 「(著書)」については、書名を記載すること。

イ 「(学術論文)」については、国際学会誌、学会機関紙、研究報告等に学術論文として発表したものの題名を記載すること。査読の有無も題名の後に明記すること。学位論文についてはその旨を明記すること。

ウ 「(学会発表、講演等)」については、関連する学会発表、講演等において、活字として発表された研究業績を記載すること。

エ 「(その他)」については、担当授業科目に関連する総説、学会抄録、依頼原稿、報告発表など記事のタイトルを、報告発表、討論会等にあってはそのテーマを記載すること。

○ 「単著・共著の別」欄は、当該著書等に記載された著作者が1人である場合には「単著」、著作者が複数で単独執筆ページがある場合は「共著」と記載すること。なお、学術論文等の「単著・共著等の別」は、論文自体の単著・共著の別であり、掲載媒体の単著・共著ではない。また、単著・共著の別により、概要に記載する頁数等は以下のとおりとする。

・「著書」について、単著の場合、頁数を「発行所、発行雑誌又は発表学会等の名称」欄に記載。

・「学術論文等」、「教育実践記録等」又は「その他」について、単著の場合、当該論文等の発表雑誌等への掲載頁を「発行所、発行雑誌又は発表学会等の名称」欄に記載。

・「著書」、「学術論文等」、「教育実践記録等」又は「その他」について、共著の場合は、本人の担当執筆部分の掲載頁(pp.〇〇～〇〇)を「概要」欄に記載。(※共同研究により、本人の担当執筆部分が不可分な場合は「共同研究により抽出不可能」と記載。)

また、本人を含めた著者全員の氏名を執筆者の掲載順に漏れなく(著者が非常に多数にわたる場合は、本人を含めた上で、主要な著者のみ)記載。その上で、本人の氏名に下線を引く。

・「概要」の項には、著書等の内容を200字程度記載すること。

以 上